

麻田 浩

～小さな絵の世界～

麻田浩は、南丹市・本町出身の日本画家・麻田辨自の二男（長男は日本画家の麻田鷹司）として、1931 年に京都市で生まれました。1954 年、同志社大学在学中に新制作協会展で初入選、当時はアンフォルメルの影響を受け、抽象絵画やシュルレアリスムなどの作品を中心に制作を行っていました。その後、1971 年の渡仏を機に、宗教的な精神性を込めた作品を制作するようになると、国内外から高い評価を得ました。1982 年には帰国、京都にアトリエを構え、京都市立芸術大学の教授を務め創作活動を続けましたが、65 歳の時に自ら命を絶しました。2017 年は、麻田の没後 20 年という節目の年にあたります。

画家は所属する団体展などの大きな展覧会に一般的に大作とよばれる大きな作品を出品することが多く、麻田も油絵の大作を自身の大きな柱に据えて創作活動を行っていました。しかし、大作ばかりを描いたわけではなく、人々が手に入れやすい小さな画も手がけました。本展では、麻田の中・小の油彩画から銅版画、ドローイングなどを紹介します。また、創作活動を記したノートのほか、画材やモチーフなどの展示も行います。画家・麻田浩が作品に込めた想いや制作当時の心境などにも触れ、改めて麻田の魅力を感じていただければ幸いです。



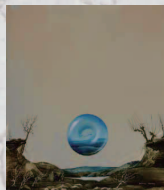
【交通案内】◆自動車：京都府自動車道「間部IC」もしくは「大木IC」より約 5 分。
◆電車：バス：京阪宇治線西口より京阪宇治線交通バス（八田線）もしくは「間部線」に乗車、「交流館前」下車すぐ。または、市営ぐるんバスに乗車、「国書館前」下車すぐ。
徒歩の場合は駅から約 30 分。

南丹市立文化博物館

〒622-0004 京都府南丹市国府町小坂町 63 番地 / TEL: 0771 (66) 0081 FAX: 0771 (63) 2983



①



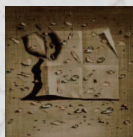
②



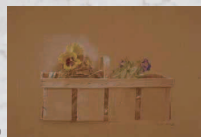
③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

【掲載図録】＜表面（上段左から）＞「水溜風景」1970 年 / 「休息」1980 年（当館蔵） / 「空と野」1971 年頃 / 「石の上の漂流物の如く」1983 年 / 「赤い風景の中」1971 年 / 「沈黙」1979 年 ＜裏面＞①「緑の地」1980 年 / ②「風景」1970 年頃 / ③「イマージュ・樹」1992 年 / ④「女」1971 年 / ⑤「三つの元素」1980 年 / ⑥「バングー」制作年不明 / ⑦「北山杉」1986 年（京都府蔵） / ⑧「横井時雄肖像画」1993 年（同志社大学蔵） ※所蔵者名の記載がないものはすべて個人蔵